資料３

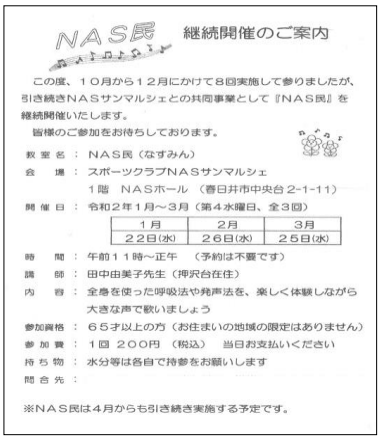
令和２年度　報告書

～地域ケア会議の参加者と創った取り組み～

個別課題の解決、ネットワークの構築、地域課題の発見等の実績を積み上げ、地域づくり、社会資源の開発へとつながった地域ケア会議、創設された事例の発表です。

No. 1　地域包括支援センター高森台・石尾台
　　地域で気軽に参加できる場づくり
No. 2　地域包括支援センター高森台・石尾台
　　移動負担の少ない集会場を活用
No. 3　地域包括支援センター高森台・石尾台
　　会員同士の助け合いの取り組み
No. 4　地域包括支援センター高森台・石尾台
　　協議会からうまれた孤食予防の取り組み
No. 5　地域包括支援センター高蔵寺
　　気噴未来につなぐ会「助け合い活動」
No. 6　地域包括支援センター南城
　　気軽にできるラジオ体操で元気な身体作りを！
No. 7　地域包括支援センター松原
　　道場山サロン
No. 8　地域包括支援センター松原
　　よつ葉のクローバー会
No. 9　地域包括支援センター松原
　　太極拳六軒屋同好会
No.10　地域包括支援センター松原
　　六軒屋地区社会福祉協議会見守り活動
No.11　地域包括支援センター松原
　　道風くん気にしてネット
No.12　地域包括支援センター東部
　　コロナ禍における地域住民の見まもり活動
No.13　地域包括支援センター柏原
　　withコロナ時代の新しい高齢者の生きがい作り
　　「未来ヴィレッジ手仕事プロジェクト」が始まります！
No.14　地域包括支援センター中部
　　介護予防を通じた生きがい＆交流の場づくり
No.15　地域包括支援センター西部
　　ひとり歩き高齢者声かけ模擬訓練

No. 1	包括名	地域包括支援センター高森台・石尾台			
タイトル		地域で気軽に参加できる場づくり			
地域課題		・高齢者向けの通いの場はあるが、会に加入する条件があり、地域問わず誰でも気軽に参加できる場がない。			
地域ケア個別会議		日にち	1.7.25	参加者	地区社協（2名）、民生委員（2名）、地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち	1.7.29	参加者	地区社協、地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち		参加者	
会議の成果		【概要】地域問わず誰でも気軽に参加できる介護予防の為の集まりの場を、講師派遣事業を活用し立ち上げた。内容は歌声ひろばを実施。 【実施主体】民生委員の有志 【継続の方法】R1.10～スポーツクラブNASのホールを借り、毎週水曜日に実施。講師派遣事業終了後のR2.1～は月１回開催。R2.4～住民主体サービス補助制度を活用している。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、集まりの場を開催することは中止しているが、参加者へ手紙（口腔体操などの紹介）をポスティング・郵送し関係が途切れないように取り組んでいる。			



NAS民 継続開催のご案内

この度、１０月から１２月にかけて８回実施して参りましたが、引き続きＮＡＳサンマルシェとの共同事業として『ＮＡＳ民』を継続開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

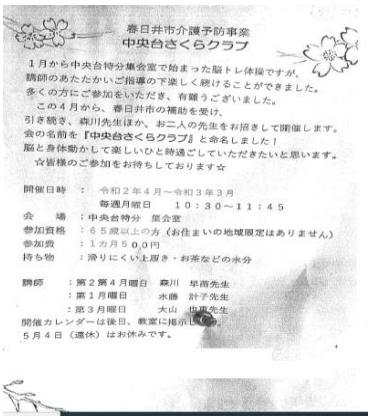
教室名：ＮＡＳ民（なすみん）
会　場：スポーツクラブＮＡＳサンマルシェ
　　１階　ＮＡＳホール（春日井市中央台２-１-１１）
開催日：令和２年１月～３月（第４水曜日、全３回）

１月	２月	３月
２２日(水)	２６日(水)	２５日(水)

時　間：午前１１時～正午　（予約は不要です）
講　師：田中由美子先生（押沢台在住）
内　容：全身を使った呼吸法や発声法を、楽しく体験しながら大きな声で歌いましょう
参加資格：６５才以上の方（お住まいの地域の限定はありません）
参加費：１回　２００円（税込）　当日お支払いください
持ち物：水分等は各自で持参をお願いします
問合先：

※ＮＡＳ民は４月からも引き続き実施する予定です。

No. 2	包括名	地域包括支援センター高森台石尾台			
タイトル		移動負担の少ない集会場を活用			
地域課題		高齢者世帯や独居世帯が増加 地域住民の関係が希薄 坂道や段差が多く、移動負担が少なく通える場がない			
地域ケア個別会議		日にち	令和元年 11月13日	参加者	分譲住宅役員・ 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち	令和元年 12月9日	参加者	分譲住宅役員・ 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち			
会議の成果		【概要】平らな立地にある中央台特別分譲住宅の集会場を活用し、集まりの場を設ける。 【実施主体】中央台特別分譲住宅住民が中心 【継続の方法】毎週異なった講師を招き、参加者が飽きず参加できるよう仕組みにしている。（脳トレ・筋力トレーニング等の介護予防や運動機能向上プログラムの実施：第2・4週は同じ講師が実施）			



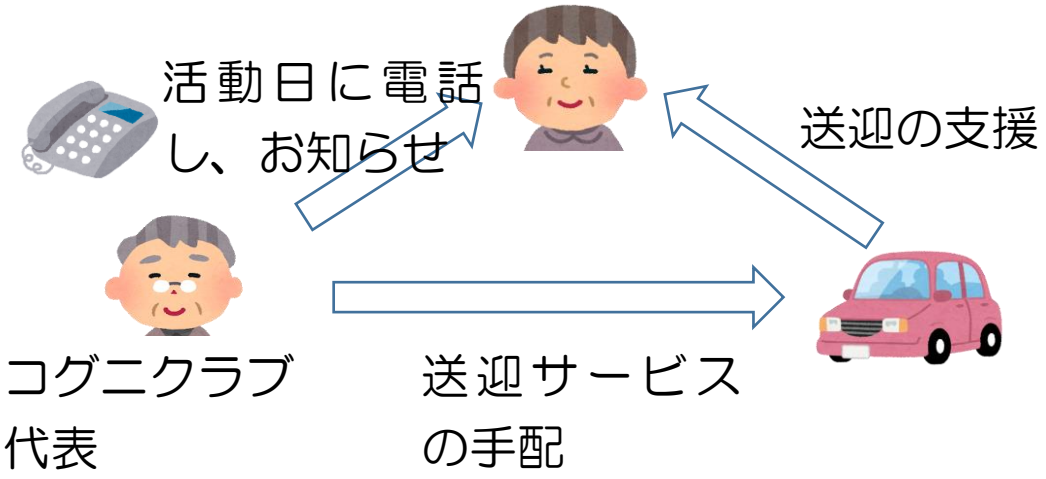
春日井市介護予防事業
中央台さくらクラブ

１月から中央台特分集会室で始まった脳トレ体操ですが、
講師のあたたかいご指導の下楽しく続けることができました。
多くの方にご参加をいただき、有難うございました。
この４月から、春日井市の補助を受け、
引き続き、森川先生ほか、お二人の先生をお招きして開催します。
会の名前を『中央台さくらクラブ』と命名しました！
脳と身体動かして楽しいひと時過ごしていただきたいと思います。
☆皆様のご参加をお待ちしております☆

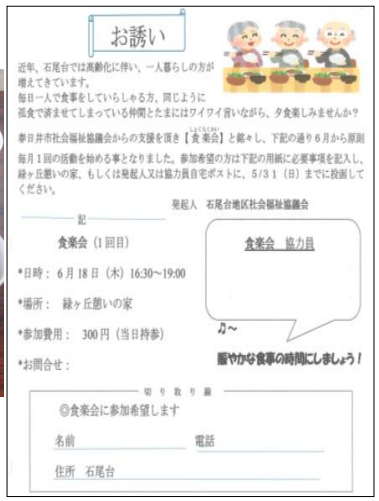
開催日時　：　令和２年４月～令和３年３月
毎週月曜日　１０：３０～１１：４５
会　　場　：中央台特分　集会室
参加資格　：６５歳以上の方（お住まいの地域限定はありません）
参加費　　：１カ月５００円
持ち物　　：滑りにくい上履き・お茶などの水分

講師　：第２第４月曜日　森川　早苗先生
：第１月曜日　　水藤　計子先生
：第３月曜日　　大山　世恵先生
開催カレンダーは後日、教室に掲示します。
５月４日（週休）はお休みです。

No. 3	包括名	地域包括支援センター高森台・石尾台			
タイトル		会員同士の助け合いの取り組み			
地域課題		・地縁関係がなく高齢者世帯、独居の方が多い地域の為、頼る人がいない。 ・集まりの場はあるが、日常生活の困りごとの援助を行う資源は乏しい。 ・知らない人から支援を受ける事に抵抗がある方が多い。			
地域ケア会議		日にち	1.10.31	参加者	高蔵寺NTコグニクラブ会長、地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち	2.2.10	参加者	高蔵寺NTコグニクラブ会員（14名）、地域福祉コーディネーター
会議の成果		【概要】運動、認知機能低下予防のサロン会員の中で、見守り支援をしたり、活動日をお知らせするなどの取り組みをしている。会員同士での助け合いを行う為、仕組みづくりを行なった。 【実施主体】サロン会員（住民主体サービス） 【継続の方法】R2.4～補助金を活用。会員の中でお助けサポーターを結成し、月1回情報交換。会員の中で独居で様子が心配な方へ月1回、訪問し様子を伺っている。会員の中で困りごとがあれば、会員の有志が手伝っている。			



No. 4	包括名	地域包括支援センター高森台・石尾台			
タイトル		協議会からうまれた孤食予防の取り組み			
地域課題		・男性高齢者の参加が少ない			
地域協議会		日にち	2.2.17	参加者	地区社協、民生委員協議会、老人会、自治会、住民主体サービス（19名）
地域ケア会議		日にち		参加者	
会議の成果		【概要】孤食予防を目的とし、普段一人で食事をしている方が集まり夕食を楽しむ。憩いの家で野菜作りをし、できた野菜を料理に活用するなど、参加者の知識や経験を活用。 【実施主体】石尾台地区社会福祉協議会食楽会 【継続の方法】食楽会代表が中心になり、毎月1回実施。3カ月に1回参加者募集し、参加者の入れ替えをしている。			



お誘い

近年、石尾台では高齢化に伴い、一人暮らしの方が増えてきています。
毎日一人で食事をしていらしゃる方、同じように孤食で済ませてしまっている仲間とたまにはワイワイ言いながら、夕食楽しみませんか？

泰日井市社会福祉協議会からの支援を頂き【食楽会（しょくらくかい）】と銘々し、下記の通り6月から原則毎月1回の活動を始める事となりました。参加希望の方は下記の用紙に必要事項を記入し、緑ヶ丘憩いの家、もしくは発起人又は協力員自宅ポストに、5/31（日）までに投函してください。

発起人　石尾台地区社会福祉協議会

記

食楽会（1回目）

*日時：6月18日（水）16:30～19:00

*場所：　緑ヶ丘憩いの家

*参加費用：　300円（当日持参）

*お問合せ：

食楽会　協力員

♫～

賑やかな食事の時間にしましょう！

切り取り線

◎食楽会に参加希望します

名前　　電話

住所　石尾台

No. 5	包括名	地域包括支援センター高蔵寺			
タイトル		気噴未来につなぐ会「助け合い活動」			
地域課題		・古くから居住している世帯と、転入した若い世帯の世代間交流がなく、近隣関係が希薄になっている ・自治会や老人会などの加入率が低下し、さらに役員の担い手が不足している			
地域ケア個別会議		日にち	平成31年 4月23日	参加者	気噴公民館館長・民生委員 ・生活支援コーディネーター
地域ケア会議		日にち	令和元年 7月19日	参加者	民生委員・自治会・公民館館長 ・生活支援コーディネーター
地域ケア会議		日にち	令和元年 12月17日	参加者	民生委員・自治会・ケアマネジャー ・サロン代表者・老人会 ・公民館館長 ・生活支援コーディネーター
会議の成果		【概要】細かい支援ができる仕組みには、日頃のお付き合い（顔の見える関係）が重要である。 広報物を活用するなど、情報発信することも重要である。 【実施主体】自治会の自主事業として展開 【継続の方法】協力者と町内の有識者で定例会を開催し、課題の抽出や解決について、検討する場を設けている。			

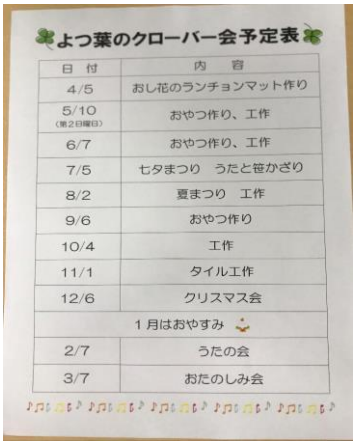
気噴町三世代交流の様子

地域ケア会議の様子

No. 6	包括名	地域包括支援センター南城			
タイトル		気軽にできるラジオ体操で元気な身体作りを！			
地域課題		・老人会がなくなり、高齢者の交流の場がない。 ・サロンがコロナ禍で中止となっている。交流が軽減することにより刺激がなくなり、生活意欲の低下にもなりかねない。			
地域ケア個別会議		日にち	9月23日	参加者	本人・民生委員・通所介護事業所・ケアマネジャー（包括）
地域ケア会議		日にち	10月14日	参加者	民生委員・地域住民・地域福祉コーディネーター
会議の成果		【概要】コロナ禍においても活動可能な場所を作り、身体を動かして心身機能の向上を図る。 【実施主体】町内会長や民生委員を中心とし、地域住民の自主的な活動として展開。 【継続の方法】ラジカセは誰でも取り出せる公園内の倉庫に保管。参加者の中で話合いながら自然に継続していける体制が整うよう見守っている状況。			

No. 7	包括名	地域包括支援センター松原			
タイトル		道場山サロン			
地域課題		・西山町市営道場山住宅の住民向けの集まりの場所がない ・西山町市営道場山住宅の住民と西山町の住民との関わりがない			
地域協議会		日にち	2月21日	参加者	親和会理事、西山倶楽部、 新規道場山サロン会長、 民生委員、市老連会長、 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち	3月2日	参加者	親和会理事、西山倶楽部、新規道場山サロン会長、 地域福祉コーディネーター
会議の成果		【概要】既存の西山倶楽部の有志の方たちが中心となって、新たに市営道場山住宅の住民も来れるような集まりの場所を設立した 【実施主体】西山倶楽部の役員を中心として開催 【継続の方法】参加者の生活に負担とならないよう月200円の会費コロナ禍でも行えるよう感染予防に十分注意し、集会場前の公園も利用し、体操等を行えるよう検討する			

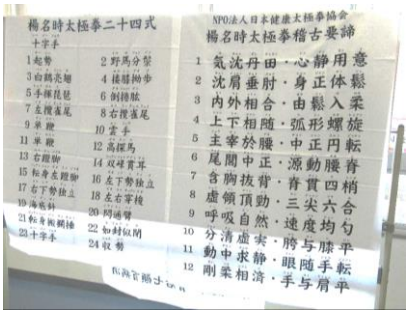
No. 8	包括名	地域包括支援センター松原			
タイトル		よつ葉のクローバー会			
地域課題		・同地区にサロンはあるが、規模が大きく登録制の為、新規の方は敷居が高く感じてしまう ・少人数で気軽に集まる場所が少ない ・多世代交流の場が地域で無い			
地域協議会	日にち	2月21日	参加者	六軒屋地区社会福祉協議会（会長・前会長・役員）、 民生委員、クローバー会代表、 地域福祉コーディネーター	
地域ケア会議	日にち	3月13日	参加者	クローバー会代表、地域福祉コーディネーター	
会議の成果		【概要】少人数でアットホームな多世代交流 子どもから大人まで楽しめる内容を企画（工作やおやつ作りなど） 【実施主体】よつ葉のクローバー会 【継続の方法】第１日曜日に行う 登録制にせず、ふらっと立ち寄って参加してもらうイメージで開催			



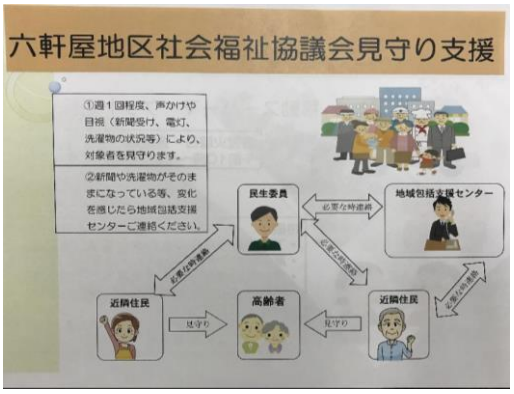
よつ葉のクローバー会予定表

日付	内容
4/5	おし花のランチョンマット作り
5/10（第2日曜日）	おやつ作り、工作
6/7	おやつ作り、工作
7/5	七夕まつり　うたと笹かざり
8/2	夏まつり　工作
9/6	おやつ作り
10/4	工作
11/1	タイル工作
12/6	クリスマス会
１月はおやすみ	
2/7	うたの会
3/7	おたのしみ会

No. 9	包括名	地域包括支援センター松原			
タイトル		太極拳六軒屋同好会			
地域課題		・六軒屋地区では大規模のサロンがあるがその他に集まる場が少ない ・新型コロナウイルス感染拡大により既存のサロンが中止になっている ・小規模の人数で運動する場がない			
地域協議会		日にち	2月21日	参加者	六軒屋地区社会福祉協議会（会長・前会長・役員）、 民生委員、 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち	9月24日	参加者	長寿会会長、地域福祉コーディネーター
会議の成果		【概要】少人数で気軽に体操できる場がないとの課題に対し、太極拳がやりたいというニーズを検討し、設立に至った 【実施主体】六軒屋同好会、むつみ会、長寿会 【継続の方法】財源は会費500円/月 70人程度収容できる公民館に対して10～15人程度で実施 ソーシャルディスタンスを十分に保ち、コロナ禍でも運動ができるよう感染予防に努めながら実施			



No. 10	包括名	地域包括支援センター松原			
タイトル		六軒屋地区社会福祉協議会見守り活動			
地域課題		・認知症高齢者、高齢者世帯の増 ・地域で認知症の方への対応方法などわからない方が多い ・地域住民の関係が希薄化している			
地域ケア個別会議		日にち	2月8日	参加者	地区社協会長、 六軒屋指定居宅介護支援事業所管理者、 認知症初期集中支援チーム、 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち	3月19日	参加者	地区社協会長、 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち	7月15日	参加者	地区社協会長、 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち	9月1日	参加者	地区社協会長、 地域福祉コーディネーター
会議の成果		【概要】地区社協の役員を中心に認知症サポーター養成講座を行い、見守り支援協力員に認知症の理解を深めてもらった 初めに小地区に絞って見守り活動を始め、一人の対象者から見守っていき、モデルケースとしてノウハウを徐々に六軒屋全体に広げていき見守り活動を行っていく 【実施主体】六軒屋地区社会福祉協議会 【継続の方法】無理のないよう見守る支援者と見守られる対象者をマッチングする 見守り方法は、目視、訪問し声掛けを行う 見守り時に困った際は、包括に連絡をする			



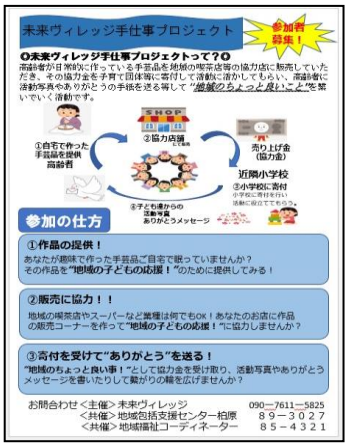
No. 11	包括名	地域包括支援センター松原			
タイトル		道風くん気にしてネット			
地域課題		・住民同士の不仲が一部見られ、サロンでの集まりは場合によって住民同士のトラブルに発展してしまう ・下原住宅の周りには商業施設、住宅等が少なく、地域から孤立した環境である ・高齢化率が45%で、安否確認が必要な独居高齢者、高齢者世帯が多い			
地域ケア会議	日にち	10月26日	参加者	自治会長、管理人、元管理人、地域福祉コーディネーター	
会議の成果		【概要】移動スーパーマーケット「道風くん」に来られる多くは高齢者で2～3人での井戸端会議は日常的に行われていた「最近〇〇さん見ていないな」とか住民同士の会話の中で生活などに困っている方がいたら包括に連絡してもらうシステムを作る 【実施主体】市営下原住宅自治会、住宅住民 【継続の方法】移動スーパーマーケット「道風くん」の方にも協力をお願いし見守りシステムのイメージ図、案内を貼ってもらう 何か困ったことがあった際には包括に連絡をする			

No. 12	包括名	地域包括支援センター東部			
タイトル		コロナ禍における地域住民の見まもり活動			
地域課題		新型コロナウイルスの感染防止対策で地域の集まりの場である高齢者サロンが長期間休止となった。自粛生活の中、地域住民の心身の状態が低下しないように地域で支えるしくみづくりが必要。			
地域ケア会議		日にち	5月20日	参加者	サロン代表、協力員（地域住民）、地域福祉コーディネーター
会議の成果		【概要】自分自身の生活を振り返り、健康への意識づけができるように、健康チェックシート「しあわせ宝箱」を作成。サロン参加者宅に協力員が訪問して心身状態を確認。介護予防体操の情報提供やコロナ関連の詐欺被害防止の啓発も合わせて行い、地域住民の見まもり活動を実施した。 【実施主体】サロン浅山・梅ヶ坪 【継続の方法】今後も新型コロナウイルス感染の第二波、三波が危惧されている。またその他同様の備えとしても継続して活用ができる。 【その他】地域協議会にて活動発表を行い、他サロンや医療機関に広く紹介した。現在、それぞれのニーズに合わせて、取り組みの横展開を進めている。			

No. 13	包括名	地域包括支援センター柏原			
タイトル		withコロナ時代の新しい高齢者の生きがい作り 「未来ヴィレッジ手仕事プロジェクト」が始まります！			
地域課題		高齢者が自宅で手芸等を続けることは介護予防につながるが、作るだけではやりがいが無くなり、作品作りを止めてしまうケースが地域内に多くある。 道の駅で高齢者の手作り品を販売する例があるように、地域に合わせたやり方で、高齢者のやりがいや生きがいにつながる取り組みを行う必要がある。			
地域ケア個別会議	日にち	7月13日	参加者	本人、本人の義娘、担当ケアマネ、デイ職員、未来ヴィレッジ代表、地域福祉コーディネーター	
地域ケア会議	日にち	9月24日	参加者	未来ヴィレッジ代表、喫茶店店主、地域福祉コーディネーター	
会議の成果		【概要】地域の高齢者が手作りした作品を喫茶店で販売。売り上げを小学校等に寄付し、子供達からのお礼のメッセージを高齢者に届けることで、高齢者がやりがいを持って作品作りを続けられるようにする取り組みを、「未来ヴィレッジ手仕事プロジェクト」として開始することとなる。 【実施主体】未来ヴィレッジ 【継続の方法】未来ヴィレッジが、地域福祉活動費支援の申請を行い、活動にかかる経費に充てる。活動の協力者が増えて軌道に乗るまでは、地域福祉コーディネーターと地域包括支援センターが未来ヴィレッジを支援する。			

[作品提供者のMさんと]

[集まった沢山の作品]



未来ヴィレッジ手仕事プロジェクト

参加者募集！

○未来ヴィレッジ手仕事プロジェクトって？○

高齢者が日常的に作っている手芸品を地域の喫茶店等の協力店に販売していただき、その協力金を子育て団体等に寄付して活動に活かしてもらい、高齢者に活動写真やありがとうの手紙を送る等して"*地域のちょっと良いこと*"を繋いでいく活動です。

①自宅で作った手芸品を提供 高齢者

②協力店舗 上下商店

売り上げ金（協力金）

近隣小学校

③小学校に寄付（小学校に寄付を行い活動に役立ててもらう。）

④子ども達からの活動写真 ありがとうメッセージ

参加の仕方

①作品の提供！
あなたが趣味で作った手芸品ご自宅で眠っていませんか？
その作品を"**地域の子どもの応援！**"のために提供してみる！

②販売に協力！！
地域の喫茶店やスーパーなど業種は何でもOK！あなたのお店に作品の販売コーナーを作って"**地域の子どもの応援！**"に協力しませんか？

③寄付を受けて"ありがとう"を送る！
"**地域のちょっと良い事！**"として協力金を受け取り、活動写真やありがとうメッセージを書いたりして繋がりの輪を広げませんか？

お問合わせ＜主催＞未来ヴィレッジ　090－7611－5825
＜共催＞地域包括支援センター柏原　８９－３０２７
＜共催＞地域福祉コーディネーター　８５－４３２１

No. 14	包括名	地域包括支援センター中部		
タイトル	介護予防を通じた生きがい＆交流の場づくり			
地域課題	・65歳以上の元気な高齢者は地域の関係者にお世話になりたくないと頑張る方が多い ・元気な高齢者は問題視されにくいため声や情報が入りにくい ・マンション住まいの方は生活の実態把握が困難 ・町内会、老人会の参加率が悪い、役員の担い手がいない			
地域ケア個別会議	日にち	R1.11.28	参加者	民生委員、地域住民
地域ケア会議	日にち	R1.12.20	参加者	町内会長、民生委員、地域住民
会議の成果	【概要】友人作り、健康作りのための手段を体操として地域で気軽に誰もが集まれる場所をサロンとして展開。令和2年2月より3ヶ月間の講師派遣事業の利用を経て5月より本格的に住民主体でのサロン活動開始。 【実施主体】地域住民主体の自主事業として展開。 【継続の方法】住民が中心となり、毎週月曜日に旭町学習等供用施設にてサロン活動を開催。			

[会議の様子]

[サロンの様子]

[チラシ]

No. 15	包括名	地域包括支援センター西部			
タイトル		ひとり歩き高齢者声かけ模擬訓練			
地域課題		・ひとり歩きをしている高齢者を見かけても対応方法や声かけの仕方が分からない住民が多い ・郵便局や個人商店が一時閉鎖や閉店し、見守りを担える場所が少なくなっている ・感染症予防対策のため、住民同士の交流の機会が持ちにくく、住民同士の連携が図りにくい ・町内のはずれの方は、住民同士の交流が少ない			
地域ケア個別会議		日にち	9月3日	参加者	民生委員2名、ケアマネジャー、地域福祉コーディネーター
地域ケア会議		日にち	10月28日	参加者	区長代理、地区社協会長、地区社協役員2名、老人クラブ理事、民生委員6名、介護サービス事業所2か所、地域福祉コーディネーター
会議の成果		【概要】認知症高齢者、特にひとり歩きをされる高齢者に対しての理解を深めるための講座を聞き、声かけの方法や対応方法を学ぶ機会として「ひとり歩き高齢者声かけ模擬訓練」を実施 【実施主体】地区社協「ウシサン見守り隊」、かすがいおれんじプラスカフェ「ハニーシュガー」、地域の施設・関係団体と協力して展開 【継続の方法】マニュアルとDVD(訓練の様子)を作成し、地区社協「ウシサン見守り隊」・かすがいおれんじプラスカフェ「ハニーシュガー」の見守り活動における研修材料とし、活動に活かす。エリア内他地域での展開			

[　ひとり歩き高齢者声かけ模擬訓練の様子　]

対応方法を学ぶ

いってきます！

徘徊していると思われる高齢者を見つけた時、あなたはどうしますか・・？

ひとり歩き高齢者 声かけ模擬訓練

（徘徊高齢者捜索模擬訓練）

道風プロジェクト in 牛山地区

～ひとり歩き高齢者声かけ模擬訓練とは～
関係者のひとり歩き役が地域をまわり、参加者が探しながら声かけのタイミングや付き添いの方法を学びます。実践訓練を通じて、ひとり歩きをしている方や地域住民の危険を早期に気づくことができる地域を目指します。

11月10日（火）14:00～15:30

【集　合】
ハニーシュガー（春日井市牛山町1846）
※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。
駐車場はありますが、限りがあります。
なるべく徒歩もしくは自転車でお越し下さい。

【プログラム】
14:00～　ハニーシュガーにて開会式
14:10～　声かけ訓練の説明と認知症高齢者への望ましい声かけ方法の説明
14:40～　声かけ訓練開始（梅林地区と市塚地区、牛山公園 に高齢者役がいますので、探して適切な声かけをして下さい。）
15:15～　ハニーシュガーにてふりかえり まとめ・閉会式

※春日井市の他地区で行われた訓練の様子

〈お問い合わせ・参加申し込み〉
春日井市地域包括支援センター西部　0568－32－1117
11月6日までにお申し込み下さい　担当：植松　梶原

チラシ

どこへ
いかれるの？

どこへいこうと
思ったか忘れ
ちゃったの

ふりかえり

令和２年度　報告書

～地域ケア会議の参加者と創った取り組み～

令和２年12月11日

春日井市地域福祉課
春日井市地域包括支援センター